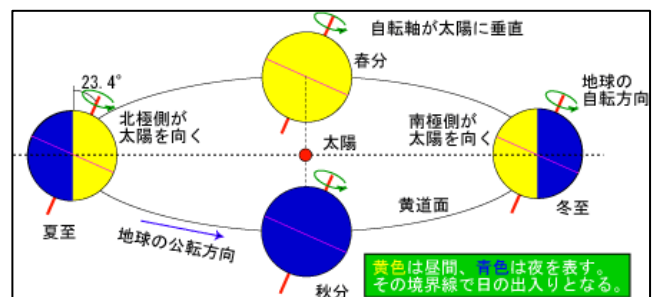




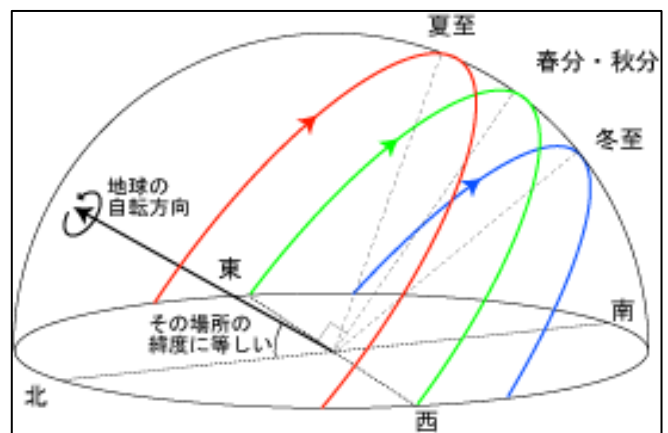
とうじ 冬至のはなし

今年の冬至は12月22日です。冬至と言うと日本では「ゆず湯に入っかぼちゃを食べる」といった風習がありますね。

さてこの冬至というのは「一年のなかで最も昼間の短い日」というのは皆さんご存知だと思います。地球は太陽の周りをまわっている公転面に対して、約23.4度傾いて自転しています。右の図のように冬至は地球の南極側が一番太陽の方を向く時です。このため、北半球では太陽が一年のうちで空の一番低いところを通るので昼間の長さが一番短くなるわけです。でも日の出の時刻が一番遅くなるのは冬至の少しあとの、日の入りの時刻が一番早くなるのは冬至の少し前なのです。



季節の変化 画像:国立天文台



太陽の動き 画像:国立天文台

さてこの冬至、昔の人にとっては特別な日だったようで、特に北の国では今まで短くなっていた昼間が冬至を過ぎると、昼間の時間が長くなりはじめるので、新しく太陽が生まれ変わる日として、お祝いをしていたようです。

冬至は太陽が真南に来た時の高さ(南中高度)が一番低くなる日です、この南中高度を測る事によって冬至の日を決める事ができます。日本でも古来より冬至を観測することによって暦を正していたようで、季節の基準とされていました。

日本では休日となる、春分、秋分より冬至はちょっと地味に感じますが季節の基準という重要な日だったのです。さて今年の冬至、私も「ゆず湯」につかって「かぼちゃ」を食べる事にしましょう。

2021年12月16日記 (解説員: 足田 純之)